

「第14回 まちの活性化・都市デザイン競技 新潟市長表彰式・記念シンポジウム」  
表彰式

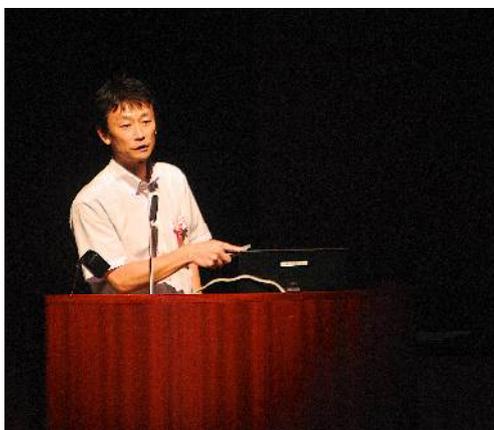
- ・開催日時：平成24年7月1日、13時～16時30分
- ・場所：だいしホール



基調講演 東京大学副学長 西村教授



(株)北海道日建設計による発表状況



地域インフラ研究会による発表状況

～新潟の都心軸をつなぐ“萬代橋”周辺が、まちなか再生の力を握る！～

新潟市長賞表彰式

○新潟市長賞(2点) ……各賞状及び賞金5万円



【新潟市長賞1】

- テーマ 「歓待と生新の萬代六景」
- 応募者 (株式会社北海道日建設計) 升田大輔、平下貴博、林 匡宏



表彰式

【新潟市長賞2】

- テーマ 「水辺劇場都市“にいがた”としての再生」
- 応募者 (NPO 法人地域インフラ研究会) 高橋邦夫、高田一博、片岡廣夫、田沢則夫、上山 寛、田邊 武

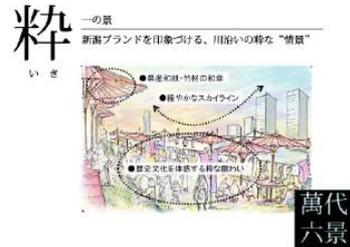
新潟市長賞作品発表

【新潟市長賞1】 テーマ 「歓待と生新の萬代六景」  
株式会社北海道日建設計 升田大輔様



- (1)萬代ブランド: MICE(歓待)とLIFE(生新)
- (2)萬代デザイン: ブランド力を高める都市イメージ『萬代六景』の創出
- ①一の景「粹」: 新潟ブランドを印象づける川沿いの粋な“情景”
- ②二の景「寛」: 賑わい・憩いが線的に展開する寛ぎの“生活景”
- ③三の景「繁」: 緑が繁り、川を感じる歩車共存の“商景”
- ④四の景「交」: 縦横に動線が交錯し、賑わいの溢れる立体的な“交景”
- ⑤五の景「遇」: 萬代エリアを象徴する出会いと交流の“遇景”
- ⑥六の景「艶」: 水辺の都市にふさわしい水際に映える艶のある“夜景”

市長賞作品発表



【新潟市長賞2】 テーマ 「水辺劇場都市“にいがた”としての再生」  
NPO 法人地域インフラ研究会 高橋邦夫様

- 水辺劇場都市…水辺を中心として人の集まる賑わい空間をつくる
- (1)水辺の積極的活用…マリナー、アゴラ、他門川堀再生
  - (2)積極的な立体都市公園制度の活用…緑被率、交通拠点、都市農地(黒埼茶豆・水田・養蜂等)
  - (3)環境シミュレーション…温熱、風環境、構造物の配置・形態、メガソーラー、風力発電
  - (4)防災(地震、津波、海面上昇、火災)対策…防災拠点、ヘリポート、市民の避難
  - (5)水と土の芸術祭と水辺のライティング…アート作品、ライティング
  - (6)エリアマネジメント…都市再生特別措置法、社会資本整備交付金、エリアマネジメント準備会



- 次第
1. 取り組み経緯
  2. まちの体温測定
  3. 萬代橋周辺の温熱・風環境シミュレーション
  4. バックキャスティング方式による水辺劇場都市“にいがた”



4. バックキャスティング方式による 水辺劇場都市“にいがた”

計画にあたり配慮した主な点

(1) 調査・分析結果

①風の道、②水・緑、③建物の間隔・高さ・向き

(2) 賑わい創出

水辺劇場ゾーンを中心拠点とし、周辺施設との有機的な連携や波及効果を目的とする施設計画

(3) 実現性・経費面

バックキャスティング方式の採用  
・整備・運営費確保を考慮した施設計画  
→一体的なエリアマネジメント、等



## 提案の概要

### 新潟市長賞

■コンセプト：水辺劇場都市“にいがた”としての再生

○新潟はもっと楽しくなる。もっと好きになる。

■応募者：高橋邦夫 高田一博 片岡廣夫 田沢則夫  
上山 寛 田邊 武  
(NPO 法人 地域インフラ研究会)

### ■主な提案

水辺劇場都市・・・水辺を中心として人の集まる賑わい空間をつくる

- (1) 水辺の積極的活用・・・マリーナ、アゴラ、他門川堀再生
- (2) 積極的な立体都市公園制度の活用・・・緑被率、交通拠点、都市農地（黒崎茶豆・水田・養蜂等）
- (3) 環境シミュレーション・・・温熱、風環境、構造物の配置・形態、メガソーラー、風力発電
- (4) 防災（地震、津波、海面上昇、火災）対策・・・防災拠点、ヘリポート、市民の避難
- (5) 水と土の芸術祭と水辺のライティング・・・アート作品、ライティング
- (6) エリアマネジメント・・・都市再生特別措置法、社会資本整備交付金、エリアマネジメント準備会



### ■審査講評

自然環境との共生を目指して対象地区における温熱や風環境のシミュレーション解析に基づいた提案が描かれており、現地の環境条件について、とても緻密に考えられている点に評価が高かった。

信濃川沿いの施設整備については、大規模な再開発を伴う大胆な提案であり、実現性にやや問題はあものの、水辺を中心として人の集まる賑わい空間を創出するための工夫やアイデアが随所に見られ、未来の信濃川沿いをユニークかつダイナミックに描いているところが印象に残った。

